# 文芸さくらがわ

## 短

## 【岩瀬短歌会】

字どこにもあらず 幾年か軍人でありし叔父の句に戦いの文 大久保 富美江

る 嬉しくもなし 瀧田勇 縁側に座りはにかむ若き日の父似と言わ

こけ玉に白く根を張る忍ぶ草酷暑の夕べ

に涼を誘ふ

瀧井幸子

コロナ禍の続きで夫とのディスタンス 日々になじみて吾マイペース 仁平千代

サルスベリのこぼせる小花見ておりて父 えてその後を生きし 大正に生まれし父はおおいなる戦禍を越 雨谷友子

はきりりと開く 澱みたる夜更けの熱気払うごと月下美人 川崎 邦子

の土産の金平糖思う

浜野和

操

地球をのみ込む 穏やかな暮らしを奪う温暖化ヒトの強欲 久保 悦子

鉢巻きいなせな法被 の叫びかあれは 灼熱の空へあかあか夾竹桃 夏おとこの御輿に乗る人かつぐ人ねじり 渡辺 しな子 戦死の叔父 泉三郎

> うと啼く夕まぐれ 死に近きはらからをりて前山の青鷺ぎや

運ぶ盆迎えの火 祖父が言う消してはならぬ提灯は先祖を 大関 登志子

ゆくりなく入りしファミレスの喧騒を 人住まいの耳がたのしむ 広澤 日出子

横綱であれ 大の里引くな下がるな堂々と唯一無二の 鈴木 英雄

父はゆっくり百歳めざす 「ありがとう」介護するたび微笑んで義 兒玉 廣子

## 【一般投稿】

サイクリングの気持よさ 青木 勲目と目が合い知らぬどうしが頭さげ朝の

#### 俳 句

テーマ句「部」ほか雑詠 【茂山俳句会】※兼題「秋の雲」「草紅葉

しょっぱいと吾子は我儘茸飯 田 ひろし

甲州から大箱届く葡萄かな 酒寄 誠

爽やかに織部茶碗の手に馴染む 渡部 千恵子

墓石の炒けて黒ずむ秋彼岸 宮本 立夫

勲章も肩の荷もなく文化の日 植竹 ふみ

朝霧の晴れて筑波の真正面

金子 弘毅

小林 美瑳子 漂泊の志なほ秋の雲

服部は羽鳥のルーツ綿を摘む

君島 真理

海老沢

静夫

## 【一般投稿】

あやとりに母と遊びし炬燵より 小林

新藁をもろうて明日の準備する 佐都志

. 比呂子 トミコ 並んでる秋刀魚はみんなスマートで

阿蘇に来て試してみたい深呼吸 南天に雀むらがり賑やかさ 入山

長堀 芳江

虫の声 「幸せですか」 幸せよ 浅賀 順

#### 俚 謡

# 【さくら俚謡会】

ラセラ 上曽雪山十年泣いた今じゃトンネルケセ 山もみじ

ぐ帰る 上曽トンネル初めて通る用もないからす 小春日和へ読む広報に落する紅葉も十二 みーちゃん 花野しぐれ

今年石岡近所になって年始行き交う桜川 田哲人



【茨城県指定】地域リハビリ・ステーション (3時間 · 1日 ・送迎あり)

通所介護(3) 居宅介護支援

衛子

ト総合介護ケアセンター 理学療法士 本橋 寛樹

介護・リハビリの ご相談や見学

桜川市西桜川2-18-5

国道50号沿い 茨城トヨタさんとなり 土曜・祝日も営